

第8回小諸新校再編実施計画懇話会まとめ

日時	令和3年(2021年)11月2日(火) 18時00分～19時30分	
場所	小諸高校	
出欠	懇話会構成員 出席=23名 欠席=2名	
傍聴 報道	傍聴者(含オンライン)5名 報道2社	
事務局	小諸商業高校	藤澤教頭(事務局長)、原教諭、中村教諭、浅沼教諭、中山教諭
	小諸高校	細萱教頭(副事務局長)、木住野教諭、坂口教諭、井出教諭、甲田教諭
	県教育委員会	上原主幹指導主事、高野担当係長、柳沢敬主任指導主事
当日資料	第8回懇話会次第と資料、第7回懇話会まとめ(含:校地選定の提案内容、コンソーシアムのイメージ)	

会議事項

報告:第7回懇話会のまとめ 会議事項:1. 学びのイメージ(全体像) 2. 新校開校に向けた諸課題(含:意見交換)

会議内容 及び 意見交換要旨

1. 「小諸新校の学びのイメージ」について(資料参照)

◆ 小諸新校の学びのイメージ(全体像)について ・両校プロジェクトチームによる説明

【意見交換】

- いい学校になると思う。「地域」を強調し過ぎず、進学する子が多い中で進路実現に向けた施策を具体的に盛り込んで良いと感じた。→カリキュラム編成はこれから。多様な進路希望に対応できるカリキュラムを検討。
- 地域との繋がりを深める方向性と認識。小諸市や商工会議所、市内の小中学校等といかに関わるか、例えば、小中の校長会から情報収集し高校との連携のあり方を検討することも有意義。→地域連携を柱として小諸商業のデュアル学習では小諸市産業振興課も協力。今後可能性を拡げ、学校から発信し、理解を深めながら進めたい。
- どの学科も基礎学力の定着は重要テーマ。その位置づけを明確にするイメージも大切。→基礎学力の伸長をベースに探究的な学びを展開する方向。今の小諸高校での学びを深める取組を精査し、より良い学びを作りたい。
- 人とコミュニケーションをとることや人前での発表が苦手な生徒も少なくない。地域との連携を進める際には、そうした生徒への配慮や、根底となるコミュニケーション能力を上げるような探究的な取組に期待。

2. 「新校開校に向けた諸課題について」(資料参照)

◆ (1) 募集学級数と開校年度について ・資料説明:旧第6通学区中学校卒業生数と学級数の推移

【意見交換】

- 中学校も生徒数の激減は深刻な問題。いろんな意味で子どもたちを活性化させる諸活動や、新たな学びや思い切った取組を考えると、ある程度まとまった生徒数や学級数が必要だと思う。
- 新しい小諸の高校を選んで入学したいと思ってもらうことが大事。高校生のアウトプットやコミュニケーション能力、発信力等、高校で学んだ重要なことを発信することまで含めて構想すれば、新校への入学希望者は増える。今は「入りたい高校」より「入れる高校」の傾向。「この高校だから行きたい」となるためには発信が重要。小中学校の新しい教育課程では、学んだことをその先にどう生かし何を発信するのが大事。それを高校に繋げて発信していくことは、新校の構想にも関係していけることと認識。

◆ (2) 設置学科、設置課程について ・資料説明:定時制課程の状況

【意見交換】

- 新校の計画では定時制課程も全日制課程と一緒に計画を進めることを期待。定時制の生徒は、様々な環境の中で学んでいる。「是非とも夜間で」という希望もあれば、「昼間の時間を選んで学びたい」という生徒もいる。
- 現在ある多部制・単位制高校に夜間部を設置することで、今後の定時制課程の選択が「夜間定時制」、「多部制・単位制の昼間部」、「多部制・単位制の夜間部」など、生徒の希望に合わせて選択できる形になることを期待。
- 商業科の学びを定時制でも学びたいという希望もある。定時制課程での商業の学びは継続してほしい。

◆ (3) 統合方法について ・資料説明:年次統合と一斉統合

【意見交換】 →事務局(県教委)

- 小諸商業の校舎等新しい施設の準備状況によって統合方法は影響されると思う。年次統合の場合、交流等を懸念。→設計・建設で数年間を要することが想定される。一斉統合は、音楽やHR等、必要な施設が整っていることが前提。
- 年次は、文化祭等の学校行事や音楽科の交流等を懸念、一斉は、入学した校舎で卒業したい生徒感情への配慮必要。
- 音楽科の活動や先生方の苦勞、生徒の皆さんの意欲が維持できる方向性を重視し、統合方法の検討を進めてほしい。
- 新校地に音楽科の施設が完成するタイミングが大事。生徒・教員の移動の問題がある。一斉の場合、2年前から学級数を減じた後に統合。学級数を減らしていかなければいけない課題がある。検討が必要。

《座長によるまとめ》

- 新校の学びの全体像は固まってきたと認識。今後の意見交換で、より良い統合方法を検討していくことを確認。また、1年でも早い開校を目指す方向で意志統一を図り、皆さんの同意を頂いたとして本日の確認とする。

